

「マルクスの思想と理論」

この講座では、現代世界の多重危機をのりこえる労働者運動の基礎として、マルクスの思想と理論にたちもどりごいっしょに再考をすすめてみたい。それは、2018年のマルクス生誕200年を機に世界の仲間がいまいたるところで志をともにし、試みている知的連帯運動の一環となるであろう。そのなかで、資本主義の現代的閉塞状況の人類史的意義と、それをのりこえる21世紀型社会主義の可能性を、その根本から探りなおしてみたい。

テキスト：伊藤誠『マルクスの思想と理論』（青土社、2020）

※なるべく本を購入の上、ご持参ください。

全6回 各月最終火曜

時間 19:00～21:00

1. 5/26(火)

第1章 マルクスの思想と理論の形成

2. 6/30(火)

第2章 導きの糸としての唯物史観

3. 7/28(火)

第3章 『共産党宣言』の現代的魅力

4. 9/29(火)

第4章 『資本論』をどう読むか

5. 10/27(火)

第5章 現代世界の多重危機のなかで

6. 11/24(火)

第6章 21世紀型社会主義のために

7. 12/22(火) 予備日

※8月は夏休み



講師

伊藤誠 (いとう・まこと)

(経済学者、東京大学名誉教授)

著書：『伊藤誠著作集』（全6巻、社会評論社、2009～12）、『資本論を読む』（講談社学術文庫、2006）、『経済学からなにを学ぶか』（平凡社新書、2015）、『マルクス経済学の方法と現代世界』（桜井書店、2016）、『資本主義の限界とオルタナティブ』（岩波書店、2018）、『入門資本主義経済』（平凡社新書、2018）。